

○ 発掘調査 概要図



立石列



巨石列の背面造成



巨石石垣



土塁状遺構の造成



斜面側の石垣

今回の発掘調査でわかったこと

大桑城の出入口にあたる伝「岩門」において、巨石石垣・立石列・石垣により城門を構築していることを確認することができました。また、中国製磁器(染付)、瀬戸美濃産陶器、土師器皿(かわらけ)などの出土遺物から、この城門が土岐氏の時代(16世紀前半)に造成・機能したものと絞り込むことができました。

土岐氏は、城内と城外を区別する城門に巨大な石を使用することにより、城を訪れた者にその権威を見せつけようとしていたのではないかと考えられます。